

2025年1月15日

厚生労働大臣 福岡 資麿 様
厚生労働副大臣 鰐淵 洋子 様、仁木 博文 様
厚生労働大臣政務官 安藤 たかお 様、吉田 真次 様
デジタル大臣 平 将明 様
デジタル副大臣 穂坂 泰 様
デジタル大臣政務官 岸 信千世 様
衆参厚生労働委員会 委員の国会議員の皆様
京都選出 国会議員の皆様
中央社会保険医療協議会会長 小塩 隆士 様
中央社会保険医療協議会 委員 各位
厚生労働省保険局医療課長 林 修一郎 様

京都府保険医協会
理事長 鈴木 卓

電子処方箋、医療 DX 推進体制整備加算に関する緊急改善要望書

貴職におかれましては、日本の社会保障制度の拡充のために日夜ご奮闘いただき、誠にありがとうございます。当会は社会保障の向上と国民医療の充実・発展を目指すことを目的に保険医療を行う医師の団体として設立し、微力ながら様々な事業を展開しています。

さて、2024年12月20日から27日まで、電子処方箋システムの一斉点検が実施されました。通知は12月19日、つまり前日です。点検中、全ての医療機関で電子処方箋管理サービスへの接続が遮断された結果、①電子処方箋の発行・変更・取消ができなくなる、②紙の処方箋（引換番号あり）の発行ができなくなる（引換番号がつかない通常の紙処方箋は発行可能）、③重複投薬等チェックができなくなる、④薬剤情報閲覧ができなくなる（処方・調剤情報の閲覧要求を同時に行った場合）一等の障害が生じました。

当協会の会員からも「電子カルテの処方箋発行システムが、電子処方箋システムの重複投薬等チェックとリンクしていたため、処方箋自体の発行ができなくなった。前日夜に通知して翌朝から接続が遮断された結果、患者に処方箋が発行できず、窓口が大混乱に陥った。いきなり全患者への手書き発行は不可能だ」との苦情が寄せられました。

ITインフラにおいて障害発生は付き物とは思いますが、通知・連絡から実施まで準備期間なく接続遮断をされては、地域医療に混乱を招き、患者の受療権が阻害されます。医療現場の実態を勘案されなかったのでしょうか。ありえないことであり、誠に遺憾です。

一方、A000初診料の加算である医療DX推進体制整備加算の施設基準告示(4)、通知1の(4)に定められた電子処方箋発行体制に関する経過措置は25年3月31迄とされていますが、24年12月段階の導入率は病院3.0%、医科診療所7.6%、歯科診療所1.0%と低迷しています。今回の接続遮断によるトラブルにより保険医、保険医療機関に悪い印象が強く残ったことも想像され、今後急速に導入率が伸びるとも思えません。

上記を踏まえ、下記の通り緊急に改善していただきますよう、要望いたします。

記

- 電子処方箋管理サービスへの接続が遮断される等の重大な電子処方箋システムの点検、メンテナンス等にあたっては、通知・連絡から実施までの少なくとも2週間以上の準備期間を確保するとともに、医療機関、ベンダーへ周知徹底を図ること。
- 24年12月段階の導入率が病院3.0%、医科診療所7.6%、歯科診療所1.0%と低迷している状況を踏まえ、A000初診料の加算である医療DX推進体制整備加算の施設基準告示(4)、通知1の(4)に定められた電子処方箋発行体制に関する経過措置を26年5月31日まで延期すること。

以上